

7.2 VPNルーター 設定方法 (アライドテレシス AR550S)

2010/04/19 更新

**アライドテレシス製 VPN ルータ(CentreCOM AR550S)設定マニュアル**

目 次

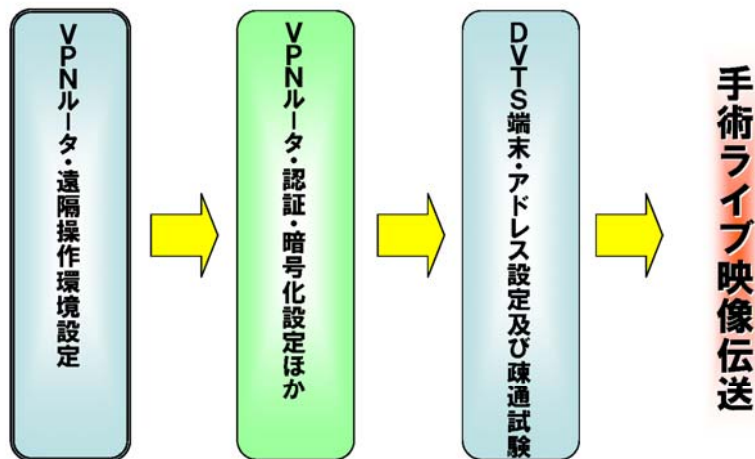
|                                     |   |
|-------------------------------------|---|
| 1 概要 .....                          | 1 |
| 2 VPN ルータ設定 (AR550S アライドテレシス) ..... | 1 |
| 2.1 ログインと起動 config ファイルの確認 .....    | 2 |
| ① ログイン .....                        | 2 |
| ② 起動ファイルの確認 .....                   | 2 |
| 2.2 起動ファイルの削除 .....                 | 3 |
| ① 起動ファイル削除 .....                    | 3 |
| ② 起動ファイル削除の確認 .....                 | 3 |
| 2.3 セキュリティモードの解除とセキュリティユーザの削除 ..... | 4 |
| ① セキュリティモードの解除 .....                | 4 |
| ② セキュリティユーザの削除 .....                | 4 |
| 2.4 IP 情報の設定 .....                  | 5 |
| ① 再ログイン .....                       | 5 |
| ② IP アドレスを有効 .....                  | 5 |
| ③ IP アドレスの設定 .....                  | 5 |
| ④ デフォルトゲートウェイの設定 .....              | 5 |
| 2.5 ルータの設定の保存と起動ファイルの設定 .....       | 6 |
| ① ホスト名の設定 .....                     | 6 |
| ② VPN ルータの設定の保存 .....               | 6 |
| ③ 起動ファイルの設定 .....                   | 6 |
| ④ 設定確認 .....                        | 6 |

1 概要

九州大学病院の遠隔医療活動においては、手術ライブ映像など患者のプライバシー情報が伝送されるものについては、必ずVPNルータを使用することが定められている。VPNルータの詳細設定自体は、ネットワークエンジニアである九州大学・岡村准教授が遠隔で行うが、その事前準備としてVPNルータが遠隔接続できる環境にあることが必要となる。

本マニュアルでは、手術ライブ映像伝送時に必要となるVPNルータを遠隔接続できる環境に設定する方法について記載する。

～手術ライブ映像伝送時の各種設定の流れ～



(担当) ローカルエンジニア | ネットワークエンジニア | ローカルエンジニア

2 VPNルータ設定

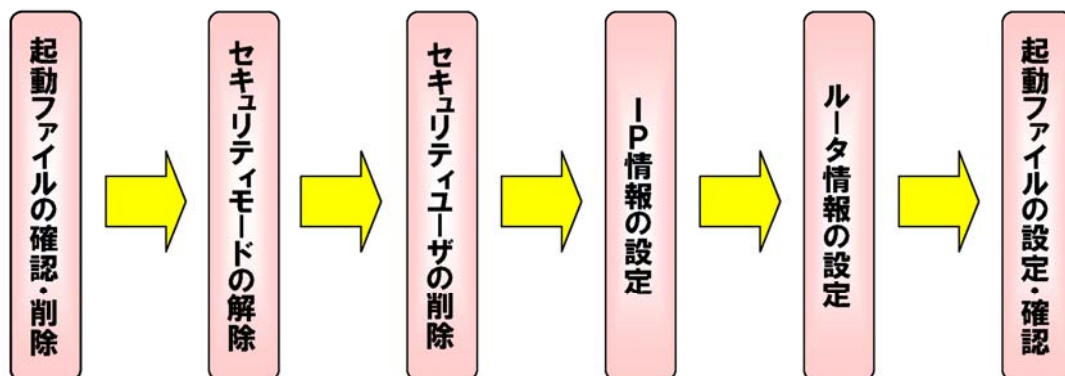
TEMDECにおける手術ライブ伝送においては、次のVPNルータの使用を原則とする。

名称:アドバンストVPNアクセスルータ

製品名:CentreCOM AR550S 及び 570S(海外モデルの場合:AT-AR750S)

メーカー:アライドテレシス株式会社(Allied Telesis K.K.)

～VPNルータ遠隔操作環境設定の流れ～

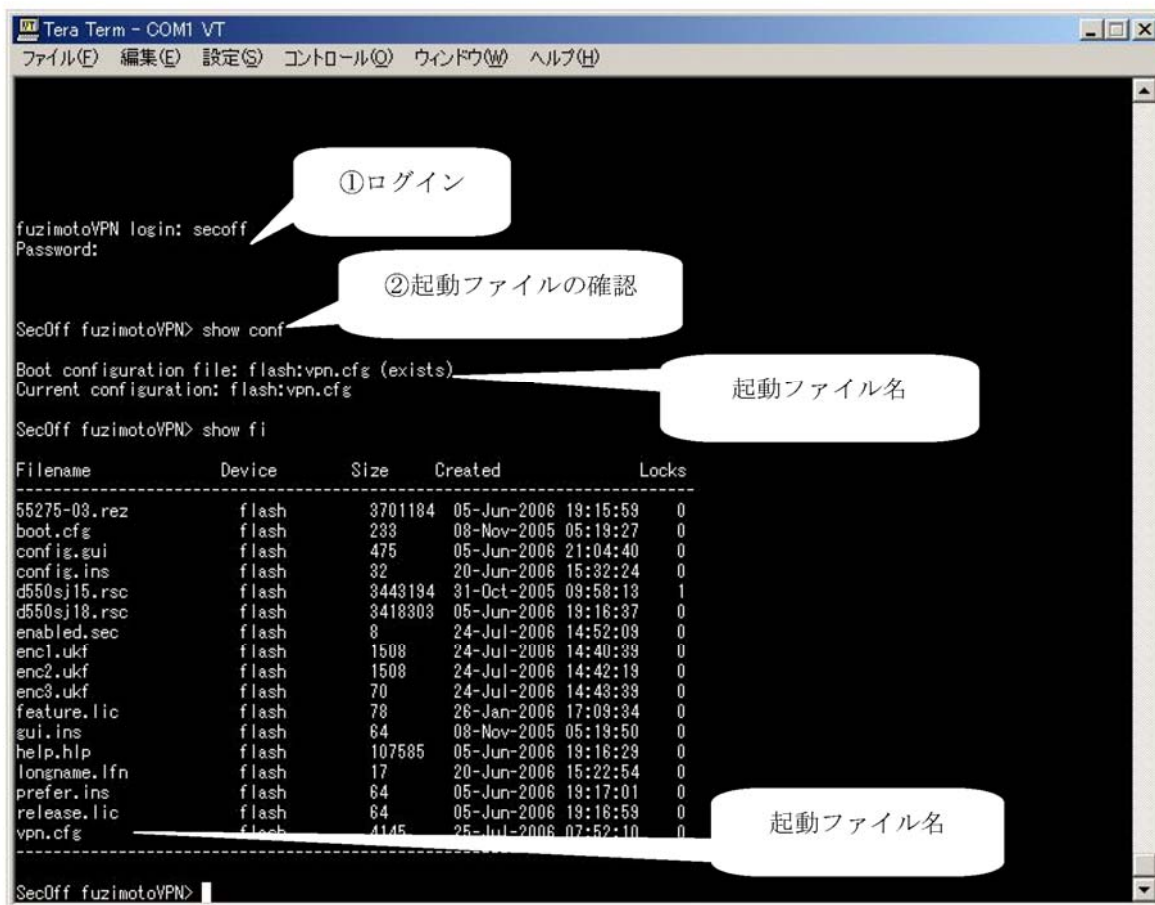


2.1 ログインと起動 config ファイルの確認

(事前準備)

- VPN ルータのコンソールポート(もしくは LAN ポート)へ設定用 PC 間をケーブル接続する。
  - コンソールケーブルにて接続する場合はハイパーターミナルや TeraTerm、LAN 接続の場合はコマンドプロンプトを起動する※
- ※購入時の LAN 側アドレスは 192.168.1.1 が設定済み、DHCP 有効

VPN ルータへログインし、起動ファイルの確認を行う。



① ログイン

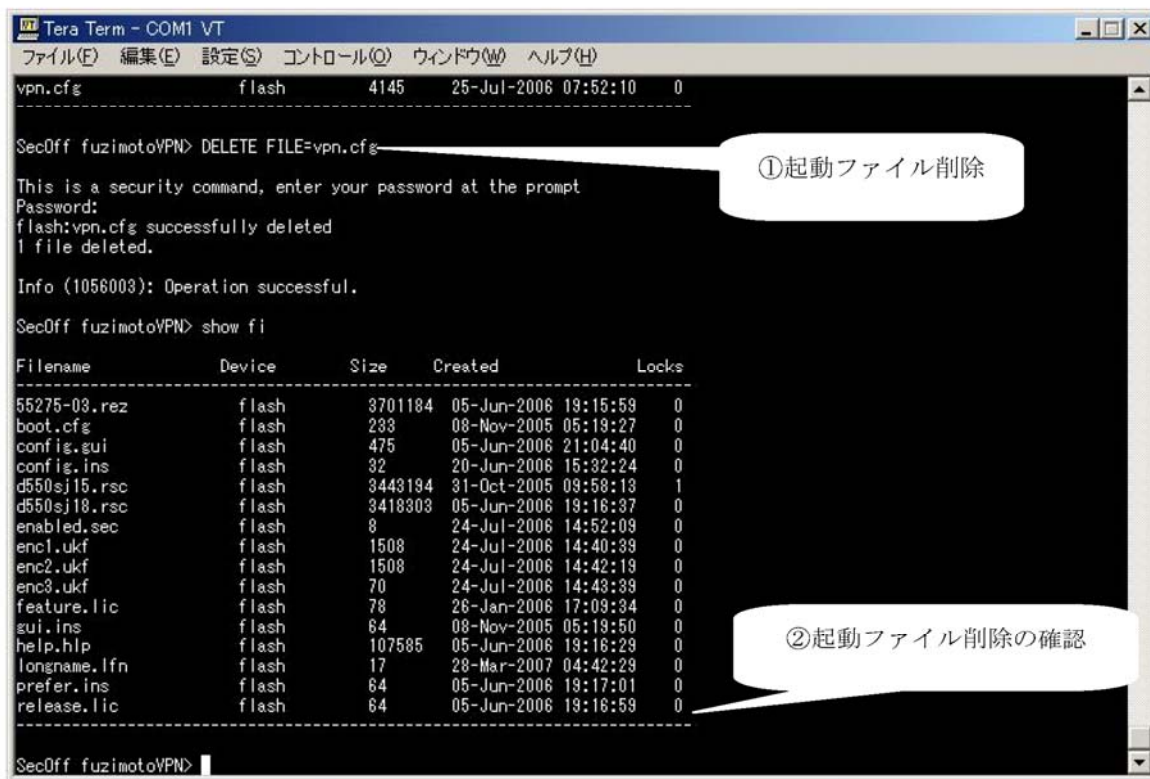
ログイン ID:secoff  
 ログインパスワード:secoff

② 起動ファイルの確認

コマンドで「show conf」と入力し、起動ファイルを確認する。  
 Boot configuration file:flash:起動ファイル名.cfg で表示される起動ファイル名.cfg が起動ファイルとなる。(上図では「vpn.cfg」が起動ファイル)  
 また、コマンドで「show fi」で vpn.cfg が表示されることを確認する。

## 2.2 起動ファイルの削除

現在の起動ファイルを削除する。



### ① 起動ファイルの削除

コマンドで「delete file=“ファイル名”」を入力し、起動ファイルを削除する。

上図でのファイル名は“vpn.cfg”

### ② 起動ファイル削除の確認

コマンドで「show fi」を入力し、起動ファイルが消えたことを確認する。

(上図では vpn.cfg が無いことが確認できる)

### 2.3 セキュリティモードの解除とセキュリティユーザーの削除

動作モード=ノーマルモード、ユーザーレベル=manager でログインできるようにセキュリティモードを解除し、セキュリティユーザーを削除する。

この設定により、VPN ルータは何も設定されていない(初期設定)状態となる。



#### ① セキュリティモードの解除

コマンドで「disable system security\_mode」を入力し、セキュリティモードの解除を行う。  
また、セキュリティモードの解除の確認をしてくるので「y」を入力する。

#### ② セキュリティユーザーの削除

コマンドで「delete user=“ユーザー名”」を入力し、セキュリティユーザーを削除する。  
上図では、セキュリティユーザーである secoff を削除。

#### ①セキュリティモードの解除

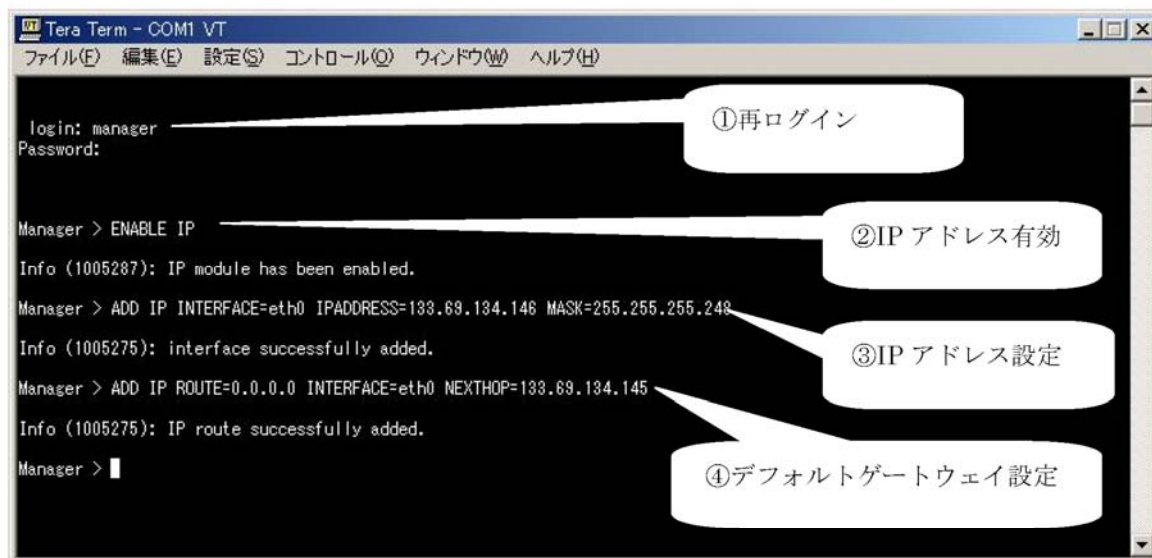
②セキュリティユーザーの削除

## 2.4 IP情報の設定

VPN ルータに新たにIPアドレス情報を設定する。

IPアドレスを設定する前に一度VPNルータの電源入り切りを行う。

ユーザーレベル=managerで再ログインする。



### ① 再ログイン

VPNルータは初期設定状態であるため、ログインIDとログインパスワードはデフォルトを使用する。

ログインID:manager

ログインパスワード:friend

### ② IPアドレスを有効

コマンドで「enable ip」を入力し、IPを使用可能にする

### ③ IPアドレスの設定

VPNルータのIPアドレスを設定するため、コマンドで「add ip interface= “VPNルータのWAN側インターフェイス” ipaddress=“IPアドレス” mask=“サブネットマスク”」を入力する。

上図ではルータのeth0ポートに133.69.134.146/29を設定している。

### ④ デフォルトゲートウェイの設定

VPNルータのデフォルトゲートウェイを設定するため、コマンドで「add ip route=0.0.0.0 interface= “VPNルータのWAN側インターフェイス” nexthop=“デフォルトゲートウェイ”」を入力する。

上記ではルータのeth0ポートにデフォルトゲートウェイ133.69.134.145を設定している。



## 2.5 ルータの設定の保存と起動ファイルの設定

設定したファイルの保存と起動ファイルを設定する。

```

Tera Term - COM1 VT
ファイル(F) 編集(E) 設定(S) コントロール(C) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

Manager > SET SYSTEM NAME=fuzimotoVPN
Info (1034003): Operation successful.
Manager fuzimotoVPN> CREATE CONFIG=config.cfg
Info (1049003): Operation successful.
Manager fuzimotoVPN> SET CONFIG=config.cfg
Info (1049003): Operation successful.
Manager fuzimotoVPN> show conf
Boot configuration file: flash:config.cfg (exists)
Current configuration: None (file not found)
Manager fuzimotoVPN> show fi

Filename          Device      Size      Created      Locks
-----
55275-03.rez      flash      3701184   05-Jun-2006 19:15:59 0
boot.cfg          flash      233       08-Nov-2005 05:19:27 0
config.cfg        flash      2825      28-Mar-2007 05:29:55 0
config.gui        flash      475       05-Jun-2006 21:04:40 0
config.ins        flash      32        28-Mar-2007 05:30:18 0
d550sj15.rsc     flash      3443194   31-Oct-2005 09:58:13 1
d550sj18.rsc     flash      3418303   05-Jun-2006 19:16:37 0
feature.lic      flash      78        26-Jan-2006 17:09:34 0
gui.ins          flash      64        08-Nov-2005 05:19:50 0
help.hlp         flash      107585    05-Jun-2006 19:16:29 0
longname.lfn     flash      17        28-Mar-2007 04:42:29 0
prefer.ins       flash      64        05-Jun-2006 19:17:01 0
release.lic      flash      64        05-Jun-2006 19:16:59 0
-----
Manager fuzimotoVPN>

```

## ① ホスト名の設定

VPN ルータのホスト名を設定する。(不要な場合は設定しない)

コマンドで「set system name=“ホスト名(任意)”」を入力する。

(上図では、「fuzimotoVPN」と設定している)

## ② VPN ルータの設定の保存

コマンドで「create config=“コンフィグ名.cfg”」を入力し、VPN ルータの設定を保存、config ファイルを作成する。

(上図では、「config.cfg」で保存されている)

## ③ 起動ファイルの設定

コマンドで「set config=コンフィグ名.cfg」を入力し、VPN ルータのリセット時などの時に読み込む設定ファイルを指定する。

(上図では、「config.cfg」を指定している)

## ④ 設定確認

コマンド「show conf」で設定した起動ファイルが表示されること確認。

コマンドで「show fi」で保存した設定ファイルが表示されることを確認。

その後、別セグメント (NW) から設定した VPN ルータ (eth0) に対して、ping による到達性及び telnet 接続による遠隔ログイン確認を行う。